

# マッハワン・フリップダウンモニター取付キット 取扱説明書

この度は、「マッハワン・フリップダウンモニター取付キット」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用・お取付の前に、この取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使い・お取付ください。  
お読みになられましたら、必ず保管してください。取付される方が、ご本人様以外の場合は、必ずご本人様に  
この本紙を熟読頂き、本件(下記内容)をご理解の上、取付をお願いいたします。

**取付にあたってのご注意点です。必ずお守りください。**

## ⚠警告

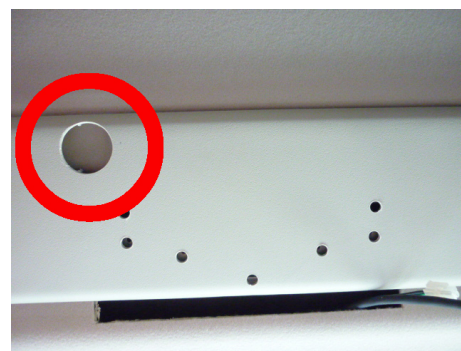
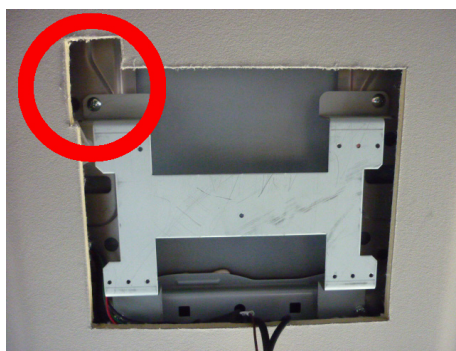
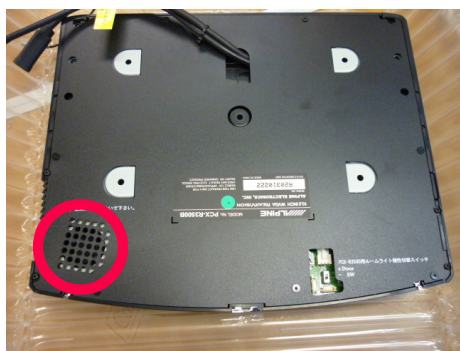
- 本製品は、指定のモニター以外を装着したり、指定以外の車両に装着することはおやめください。
- 改造・加工をしないで下さい。事故・破損の原因になります。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところでの保管をお願いします。
- 上記に関して事故等が発生いたしましても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

## ⚠注意

- 説明書に従い正しく取付して下さい。取付を誤ると、車両の故障や、破損をまねく恐れがあります。
- 付属の説明書はモニター本体の固定方法、及びモニター用ルームランプ線の取付に関する説明書です。モニター  
の結線等につきましては、モニターの説明書にてご確認ください。
- しばらく走行した後に、各部のネジの緩みが無いか確認してください。
- この商品は天井内装部を加工します。取外し後は加工後が残ります。
- 取付には、工具と、専門技術、経験が必要になります。  
不安な方は、プロショップ・専門店・お買い上げ店に作業依頼頂く事をお勧めします。
- 穴あけ作業の伴う場合は、貫通した際に、他の場所に傷をつけないように十分注意してください。
- 説明書に従って、加工及び取付を行ってください。説明書に指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケ  
ガ等に対しましては、当店は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

**また、プラズマクラスター搭載シリーズモニターの取付に関しましては必ず、下記内容に沿って追加作業を行ってください。  
追加作業を怠るとモニターが破損します。よろしくお願いいたします。**

- PXH/PSA/PSH/PCX/PCH シリーズは、モニター本体裏側にプラズマクラスターのファンの吸気口が付いています。  
天井をカットした開口部が小さく、この吸気口をふさぐ場合は開口部を必ず広げてください。



ベルファイア取付時の開口例

デリカD:5取付時の開口例

# KTA10-RP6-VG-R/BK-R

## RP6/7/8 ステップワゴン アルパイン 10 インチフリップダウンモニター 取付説明書

### 構成部品



ブラケットA



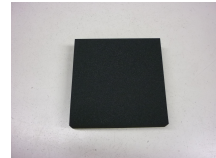
グロメット



タッピングビス



TMX-R2200 専用



スポンジスペーサー



ルームランプリレー

### 取付説明 (下記写真で確認しながら作業を進めてください。)

(写真①) RP8 ステップワゴンの天井です。

(写真②) 天井ライニングをカッターでカットします。カット位置はフロントルームランプから天井に沿って 480mmの所を、  
車両センターを中心に縦 150mmX横 280mmです。

(写真③) カットした所です。

(写真④) 車両フレーム■穴 2カ所にグロメットを差し込みます。

(写真⑤) 向きがありますので、写真を参考に差し込んで下さい。

(写真⑥) ブラケットAを付属のタッピングビスで固定します。写真下側が車両前方になります。ブラケットの向きにご注意ください。

(写真⑦) モールをスペーサーに取付します。U型モールの長い方を外側にして差し込みます。

少し長めにカットして、全体になじます様に取付けるときれいに仕上がります。

(写真⑧) スペーサーを挟み込むようにして、モニター付属のM4X15 ボルト4本でモニターをブラケットに取付します。

TMX-R2200 シリーズはキットに付属の専用ボルトを使用してください。中央部の穴(1本)は使用しません。

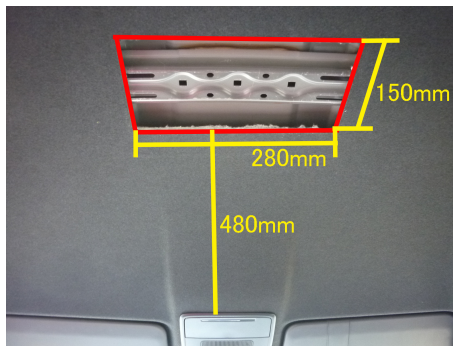
モニターの押さえ込みがきつく、天井ライニングにしわが出そうな場合は調整用ワッシャを挟み込んで解消してください。

逆に天井との間に隙間が発生したり、モニター開閉時、走行時等にガタつく場合は天井内にスポンジを適切なサイズに  
カットし、解消してください。

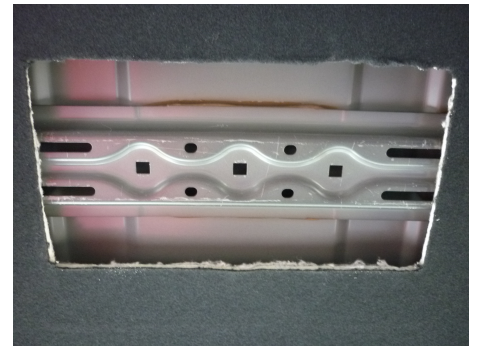
### 取付概要写真



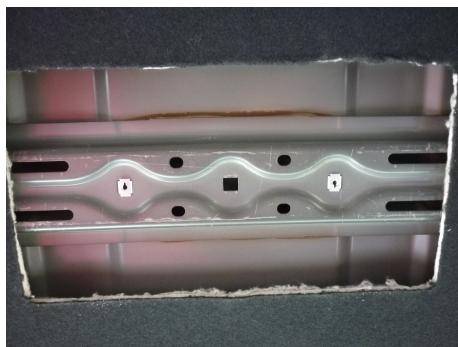
写真①



写真②



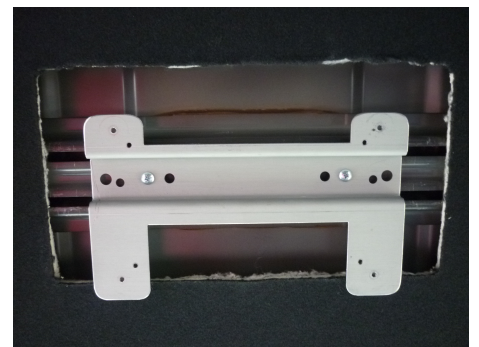
写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧

## ルームランプ付きモニターのルームランプリレーの接続

- イグニッションON時や、キーOFF時、ドアの開閉では正常にモニターLEDルームランプは作動するが、リモコンでドアロックすると数秒後にモニターLEDルームランプが点灯する。
- 車輻のドアロックをすると、モニターのランプが点灯する
- 車輻ルームランプが消えた後に、モニターのランプが点灯する

などの症状が発生する事例があります。上記症状の場合は対策リレーユニットの取付をお願いします。

### 取付方法

1. ルームランプリレーから出ているギボシ端子の付いていない方の線を車両へ接続します。

ルームランプリレー 黄(3m)	→ 車両側(オーディオ用常時電源)	オーディオ裏電源コネクタ	
ルームランプリレー 赤(30cm)	→ 車輻側(ルームランプ用常時電源)	フロントルームランプ裏コネクタ	赤
ルームランプリレー 緑(30cm)	→ 車輻側(ドアコントロール線)	フロントルームランプ裏コネクタ	若草
ルームランプリレー 黒(30cm)	→ 車両側(アース)	ボディアース	

年式・グレードによって車両ハーネス線の色が異なる場合がありますので必ずテスターで確認して下さい。

簡易作業用の赤タップを同梱させて頂いてますが、配線の太さ、作業不良により、接触不良など発生する場合がございます。

「お互いの配線を露出させ巻きつける」「ハンダ接続する」などの作業をおすすめします。

この場合は配線ショートしないように必ずビニールテープなどで絶縁してください。

2. モニターのルームランプコードとルームランプリレーから出ている端子の付いてる方の線を接続します。モニターのルームランプコードは適当な長さにカットし、KIT付属の端子を使用して接続してください。モニターによってはドア線(緑線)のみのモデルもあります。その場合は、ギボシの付いている黄線と黒線は使用しません。